

# 磐城時報

日刊 八十月 十夕  
編輯 石城郡平町福屋町十四  
印刷 石城郡平町福屋町十四  
發行 石城郡平町福屋町十四  
電話 石城郡平町福屋町十四  
郵政 石城郡平町福屋町十四  
廣告 石城郡平町福屋町十四  
代價 石城郡平町福屋町十四  
訂金 石城郡平町福屋町十四  
日刊 (日七十月三年八正大)

## 勅語發布四十年

### 石城教育會の記念事業

石城郡教育會並に石城郡小學校長氏を招聘目下設計中であるが、校調査會では明年は教育勅語が水道水源として一昨年湯本で記念事業をなすべく過般の總瀧江筋水利組合に對し一個五分間村役場内に委員會を開き協賛會に於て決定を見十六日午後一時から第一小學校に於て役員一々年千四百圓を組合に補償しなり強硬な反對意見を有する者會を開き記念事業に就て協議をせらるる取水權をそのまゝ炭礦もあり、組合側が如何なる態度を重ねた結果教育會としては石り譲り渡しを受くべく目下炭礦に出づるか注目されてゐる。

## 電話の明年度から

### 全部共電式となる

平町に於ける電話は千臺に達し登記所長齋藤兵三氏は五ヶ年勤に於ける電話は磁石式地方の信厚かつたが去る九月會津柳澤に榮轉しその後を記念し一般に教育勅語の趣旨を徹底させることになつた。

## 平町會計検査

會計検査員萩原義雄、青沼餘太郎、坂本隆藏、佐々木龍若の四氏は十六日例年の如く平町の會計検査を行つた。

## 湯本水道

### 設計に着手

今夏飲料水の涸渇に苦しめられ、石城郡湯本町では上水道を敷設する事となり二本松町の水道を完成した技術者工學士百成俊

## 齋藤氏榮轉

上遠野村

二十三日午後六時から平町樂館に於て第二回借地借家三割値下要求町民大會並に経過報告會を開く事になつた。

## 木炭同業で

### 組合員整理

濱三郡木炭同業組合では来る二十三日午前十時から評議員會を開き臨時検査員選任と組合員整理につき協議するはすが組合員の整理は打續く炭界の不況で廢業するもの續出豫算に大蹙跌を來したためである。

## 昨年の半分しかない

### 平町商店の賣上げ

年の瀬もいよいよ押迫つたので名濱町でも同様打電したが、平町の商店街でも呉服屋、洋品名店等では同日午後二時から急ぎで解散値下げの安賣り人気が連日會を開き協議の結果委員を博さんと云ふ、店飾りや宣傳あげて近日中に上京復活の運動を要する事になつた。

## 不景氣で

### 動けぬ女給

緊縮風で先づ第一に影響を受(四五)は去る十五日午前九時頃けたもの、一つカフェー、赤い灯、青い灯の唄が聲をひそめてから早や半年、いま不景氣の年の瀬を控へて一夜に一人でも客を迎へてゐるのは平町数軒のカフェー中ほんの數へるだけで大ていは火の氣のない火鉢をかこんで女給さんが鼻をすすりながらボロボロの「キング」を讀みさらし十時頃時計をながめてあくびしてゐるといふ有様、女給さん連正月の着物の代り出はオロカの事毎日の湯饅の工面にさへ困るといふみじまきである。

## 急進町會

平小鐵道計劃放棄したらしいと報により平町では十七日午前八時、貸家の値下げ運動を起し大鐵道大臣並に上京中の比佐代議士に宛て復活方の電報を送り小

## 酌婦鑑札なくしては

### カフェー女給の出來ぬ

平署では年末にあたり料理屋、藝妓屋、飲食店、カフェー等の營業者二百餘名を十七日午前午後二時に亘り同署道場に集め荒井署長から取締方針を訓示し違犯を起さざるやう注意した訓示の内容は、飲食店、料理屋は絶対に客を宿泊せしめざること、女給に

## 東電の

### 重役來平

平町では委員をあげ東部電力株式會社に電氣料値下げの交渉をなしてゐたが之に對し會社では數日中に事務取締役西山龜太郎氏が來平重役會で協議した結果を報告する事になつた。

## 自動車に

### 轢き倒さる

石城郡平町村中平澤松崎新藏(四五)は去る十五日午前九時頃同村地内縣道を歩行中小川村方面より平町に向つて疾走して來た平町播磨小路地自動車部所有乗合自動車運轉手齋藤健に轢き倒され全治二週間の傷害を與へられた。

## 山崎家の不幸

平町二丁目素封家山崎勇治氏長女、子(五六)刀自は豫而病氣療養中の處藥石効なく十六日午前一時遂に長逝した、刀自は故山崎運吉氏の令閨にして志操堅實、

淑徳の譽高かりし人で、その死を惜しまれてゐる。葬儀は十八日午後三時長橋町性原寺に於て執行されたが會葬者數百名を算し稀に見る盛儀であつた。

## 原町通信

### 公私經濟

原町役場内に於て過日來より公私經濟緊縮實行委員會を設け教化總動員公私經濟緊縮に關する實行要目を印刷して町民一般に配布したるが同町の冠婚葬祭改善同盟規約並に宣誓十ヶ條を草案したるもの即ち一、皇國臣民たるの光榮を感謝して報恩を期する事

## 緊縮宣傳

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 マルソー・ブランク・ヂ・1.1.0 マルソー・ル・ヂ・1.1.0 良品にして安價實行飛ぶが如し 西村屋藥局

一、父母祖先の報恩を忘れざること  
一、齋家は治國の本と心得て家道を闡明すること  
一、業務は齋家の本なるが故に最善を期すること  
一、夫婦は一心同体なり愛を以て助け合ふこと  
一、忍は衆妙の門なり何事も忍び合ふこと  
一、勤儉以て己を律し中正以て事を制すること  
一、交際を廣くすへからず深きを要すること  
一、理性を重んじ感情に制せられざることを  
一、日進の修養を怠らざることを以上

